科目ナンバリング	U-LAS05 10009 LJ23						
授業科目名 <英訳>	地域地理学 Regional Geography			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　山村　亜希		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

地域とは、固有の地理環境と歴史条件の中で、長い年月をかけて、人間社会が形成した空間である。本授業では、このような地理と歴史の産物である地域を見出し、その成り立ちと仕組みを考える。
本授業は、日本の旧版地形図（明治・大正期の地形図）の読図を通じて、近代化以前より各地域が有していた特性（地域性）を考える。さらに、明治・大正期から現代に至る間の地形図との比較を行い、旧版地形図にみられる地域性が現代の景観にどのように影響しているか、そのようになった要因とプロセスとは何かを解説する。授業は、解説だけでなく、グループでの読図やディスカッションも交えて行う。
本授業では地形図の読図を通じて、歴史的視点を入れながら、地域を考える点に特徴があるため、地形図への着色や地名探しなどの手作業をいとわず、地形図からの発見を楽しめる人に向いている。高校の日本史・地理の知識は特に必要としないが、それらへの興味関心は持って受講して欲しい。

[到達目標]

読図の視点・方法を習得し、諸地域を地図を介して地理学的に考察できるようになる。授業で取り上げる地図とは他の地域でも、同様の考え方・方法を適用して、自主的に地域の特性と構造を検討できるようになる。

[授業計画と内容]

授業の進行状況に応じて、順番やテーマを変更することもある。

第1回　概要説明
第2回　高槻・茨木の地形図を読む・前編
第3回　高槻・茨木の地形図を読む・後編
第4回　地形図から考える広島の戦後復興
第5回　瀬戸内デルタの比較地誌－新田から工業都市へ・福山と水島－
第6回　良港の条件－海の視点から作られた町・舞鶴－
第7回　火山との共生－阿蘇カルデラー
第8回　開拓のかたち－武蔵野台地と玉川上水－
第9回　都市仙台の百年・前編
第10回　都市仙台の百年・後編
第11回　期末レポートとその参考例の読図
第12回　有明海の干拓とクリーク
第13回　濃尾平野の氾濫原と島畑
第14回　まとめ
第15回　フィードバック （フィードバック期間中に行う）

地域地理学(2)へ続く↓↓↓

地域地理学(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末レポート60%、平常点（授業への参加状況、小テスト）40%

[教科書]

毎回、地図を中心とした大判のプリント（A3サイズ・2枚程度）を配布する。複数回で連続で使用し、前回の読図・着色作業を前提として講義を続ける場合も多いので、前回分も持参すること（ファイリングして持参がベター）。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習・復習：授業中に終了しなかった読図・着色作業を行う。また、授業で紹介する参考文献を読んだり、読図や講義内容からの気づきを忘れないうちにメモしながら、授業内容を自分なりに文章化してまとめることが復習となる。

[その他（オフィスアワー等）]

授業中に地図や図表に着色するなどの作業を行うので、色鉛筆・マーカー（赤・青・黄色・緑の4色）や色ペン複数色を持参する。

[主要授業科目（学部・学科名）]